

## 令和5年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

### 畑島 晃貴 議員

◇教育について

(1) 県立高校の役割と魅力強化に向けた取組について

- ・選ばれる県立高校をめざすためには、地域と連携し、特色ある学校作りを進めるべきと考えるが、県としての取組を伺いたい。

(教育長答弁)

現在、国の中央教育審議会の特別部会において「高等学校の在り方」について議論が行われており、その中で、高校を持続的な地方創生の核として位置づけ、地域資源を活用した県と市町との協働による魅力ある学校づくりについてもテーマとなっているところです。

こうした国の動きも踏まえ、全国に先駆けて、今年度から、市町と連携して、高校の魅力化と地域の活性化を一体的に進めていくこととしており、この取組の中で、人や産業など地域の資源を活用したその高校ならではの学びについて、外部の知見者や地元の事業者等も交えながら議論を深め、将来を見据えた魅力ある高校づくりに努めてまいります。

(2) 遠隔教育の活用について

- ・特に、離島半島地域の県立高校においては、遠隔技術を活用することは効果的と考えるが、設置を予定している長崎県遠隔教育センター（仮称）の狙いを伺いたい。

(教育長答弁)

遠隔教育センターにつきましては、全国で3番目となるICTを活用した新たな学びの拠点として、令和7年4月に大村市の県教育センター内に開設予定としており、今年度から本格的な準備を進めているところです。

遠隔教育センターでは、教員数が限られている離島半島部の小規模高校に対して、学校単独では授業の開設が難しい科目等を配信することにより、生徒たちの学びの充実を図ってまいります。

また、授業配信にとどまらない先進的な取組として、大学・企業等と連携した探究的な学び、進学や就職などの進路希望に応じた講座、海外の学校等と結んだ国際交流など、外部機関とも連携しながら、多様な学びを提供するよう計画しております。

このようなICTの活用を通じて、これまで学校だけではできなかった幅広く豊かな学びを実現し、今後の予測困難な時代において、広い視野を持って主体的に人生を切り拓くことのできる生徒の育成を図ってまいりたいと考えています。